

平成29年度補正予算（防衛省所管）の概要

自衛隊の安定的な運用態勢の確保・・・2,345億円

(1) 弾道ミサイル攻撃への対応・・・622億円

北朝鮮は本年度に入って、6回目の核実験を行ったほか、相次いで弾道ミサイルを発射し、技術・運用能力の向上を追求。こうした北朝鮮の能力向上への対応は喫緊の課題であり、最大限早期に事業を推進。

陸上配備型イージス・システム（イージス・アショア）の導入に関する米国からの各種情報等の取得

能力向上型迎撃ミサイル（PAC-3 MSE）の調達

固定式警戒管制レーダー（FPS-7）の換装、自動警戒管制システム（JUDGE）の能力向上等

イージス艦へのBMD機能の付加等



PAC-3 MSEミサイル



イージス・アショア

(2) その他・・・1,723億円

一層厳しさを増す我が国周辺の安全保障環境や頻発する自然災害に対応するため、自衛隊の安定的な運用態勢を確保。

新早期警戒機 E-2D、連絡偵察機 LR-2、情報収集用器材、災害対処に必要な装備品等の調達、哨戒機 P-1、救難ヘリコプターUH-60J等の整備

装備品等の部品費・修理費の確保等

海賊対処行動の派遣期間延長に係る経費等